

学校図書館カフェ事業報告書

学校図書館を考える会・おかやま

企画の目的

学校図書館を考える会・おかやまでは、子どもたちの深い学びを支える学校図書館の充実を願って活動している。今年度6月9日(日)に学校図書館カフェを、岡山市教育委員会後援のもと岡山県立図書館にて開催した。市民や議員、教職員、子どもなどが集い、読書やタブレット活用を中心に学校図書館の在り方について語り合うことができた。そうした学校図書館・学校司書の働きをもっと伝えてほしいとの要望が多く出た。

そこで下記の通り、学校図書館について市民協働で自由に語り合えるカフェを引き続き開催し、学校図書館の取り組みと子どもの育ちについてレポートと意見交流を行いたい。そして、子どもたちや地域の願いを受け止め応えることができる学校図書館活動や、学校図書館の充実をめざしていきたいと考え、開催した。

また、学校図書館カフェの開催により、文学に関心をよせ大切にすきかけづくりや、文学創造都市への土壌づくりにもなることと考えている。

企画概要

○日時:2024年10月19日(土) 10:00~12:00

○場所:岡山県立図書館 多目的ホール

○内容

あいさつ 学校図書館を考える会・おかやま代表 絹川利恵子

岡山市の学校図書館について報告(岡山市立平津小学校 学校司書 武田江美子)

ミニレポート① 岡山市立西大寺南小学校 学校司書 濱本彩

「一人一台端末で広がる学校図書館活動」

一人一台端末(Chromebook)の活用が、学校や家庭ですすんでいる。学校図書館でも、Chromebookを活用し、学校司書から学習を理解しやすいような動画や本の情報提供、文化施設をインターネットを介して利用するワークショップ、Chromebookを使ったプチ読書会、など多様な活動をすすめている。子ども自身も図書委員会活動で学校図書館の動画の作成、アンケート集計、本のポップづくりなど、Chromebookの機能をいかして、意欲的に活動している。学校図書館は、Chromebookと図書の併用でよりの確で迅速な情報の提供や活用の支援、子ども一人一人の声を受け止め、子ども達の発見や疑問、学びを応援している。

ミニレポート② 岡山市立桑田中学校 学校司書 長久陽子

「桑田中学校・図書館利用と地域と連携した読書の取り組み」

桑田中学校の生徒たちは、学校図書館利用が活発である。授業はもとより、休み時間も行列ができるほど。学校司書にもおすすめの本をたずね、新刊本には敏感に反応する。学校図書館を活用する授業も多く、教師と学校司書とで相談し、学校司書が資料の使い方を説明し他校の図書館から30冊以上本を借りて提供することもある。

こうした子どもたちの読書好きには、学校だけでなく学区に公立図書館があり、学校司書と地域の読書ボランティアとの20年以上の連携で読書推進を続けてきたという背景もある。桑田中学校区の学校園で協力して、19回も子ども読書フェスティバルを開催してきた。学校司書、市民、園の職員の

語るお話しと、中学生も読み聞かせなどの実演をし交流し育っている。地域のおはなしグループ“そらきたホイ!”は読書フェスティバルの立ち上げ当初から継続して関わり、子どもの読書環境の充実に力を注ぎ、学校司書も地域連携を大事に引き継いできて、今日がある。

フリートーク

「学校図書館の図書予算は十分なのか?」「Chromebook の活用の様子がよくわかった」「学校司書の勤務時間が短いと子どもの利用時間を制限することになるのではないか?」「学校図書館が授業に活用される内容をもっと知りたい」「子どもたちの読む力を育てるには?」「学校司書が子ども一人ひとりの質問にこたえ、他の図書館から本を借りて届けるなどの取り組みに感動した」「学校図書館の取り組みをもっと発信してほしい」「学校司書としての仕事の楽しさを再認識し、元気をもらえた」「子どもの頃に本と触れ合うことが人生において大切だと思った。有意義な会に感謝」など、学校図書館の充実にむけた質問や情報交流が活発に行われた。

成果

- ・学校図書館カフェを年2回、継続してきたことから、多様な分野の方（市民、教職員、研究者、市外の市民、書店）が参加し、学校図書館と子どもの育ち、まちづくりについて学習・交流ができています。
- ・学校図書館の役割や学校司書の取り組みについて、具体的に報告し現場の活動を共有できた。もっと発信してほしい、授業での学校図書館活用や子どもの学び、教師との協働について知りたい、地元作家との交流を盛り込むことはできないか、との発言が出るなど、継続開催の要望が出ている。
- ・子どもたちの Chromebook の活用と読書について、引き続き学びたいとの感想が多くあり、学校司書の研修の機会ともなっており、学校図書館活動の充実が期待できる。

課題

- ・10月は文化行事が重なり合っており、参加者が44名であり、前回6月(63名)より少なかった。
- ・学校図書館を活用する子どもの保護者などの参加を増やし、さらに学校図書館への要望を受け止め学校図書館を充実させたい。

○参加費について 無料

○主催 学校図書館を考える会・おかやま